

科目区分	専門分野Ⅱ《成人看護学》
授業科目名	成人看護概論
開講時期	1年次・前期
単位(時間)	1(30)
担当講師	《専任教員》看護師としての実務経験あり
科目のねらい	人のライフサイクルにおいて、成人期は心身ともに社会的にも自立・自律している時期といえる。本科目では、成人期にある人々が生活者として担うさまざまな役割から成人を理解し、大人としての成人の特徴を学ぶ。また、成人期の人々が生活者として抱えやすい健康問題を理解する。大人の学習者を援助する看護のあり方をふまえ、看護に活用できる実践的な理論について体験学習と照らし合わせながら学ぶことで、成人期にある人々への看護展開を行う基盤をつくる。
到達目標	1) 成人看護学の概要について理解する。 2) 成人各期の発達課題および身体的特徴、心理・社会的特徴を理解する。 3) 成人期にある人々の健康障害の特徴を生活およびライフスタイルから理解する。 4) 看護に活用できる理論を生活者としての成人の特徴に照らしながら理解し、自己の考えを記述する。 5) 成人の看護に有用な理論の概要と看護への応用について自己の考えを述べる。
授業の内容と方法	本授業では、各回授業のテーマを示す。それに対し、まず自己目標を考え、授業に臨んで欲しい。詳しくは、授業ガイダンスで説明する。  1回目 授業ガイダンス 「あなたは『大人』? 『子ども』?」 2回目 「未来の成人期を生きる私たちから見た成人期の特性」 3回目 「成人の特徴をもっと知ろう～私と親世代(成人)の生活・役割・成長発達～」 4回目 「成人期と成人各期の特徴の理解その1ー青年期ー」 5回目 「成人期と成人各期の特徴の理解その2ー壮年期ー」 6回目 「成人期と成人各期の特徴の理解その3ー向老期ー」 7回目 「成人各期における死の意味と死に直面した人々の心理過程」 8回目 「対象喪失による死別の受容過程～家族・愛する人の喪失に直面して～」 9回目 「成人が抱えるストレスと看護」 10回目 「危機理論を活用した対象の把握と看護介入」 11回目 「ヘルスプロモーションと大人の学び」 12回目 「大人の学びを支援するエンパワメント・アプローチ」 13回目 「成人の理解と行動変容の支援に活かせる自己効力理論」 14回目 「成人の健康障害(生活習慣病と職業に関連する健康障害・保健医療政策)」 15回目 「健康レベルに着目した成人の捉え方」 終了試験
評価方法	終了試験(80%) 授業への出席・参加状況《提出物の提出状況》(20%)
必携文献	1) 安酸史子・鈴木純恵・吉田澄恵編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学①—成人看護学概論，メディカ出版，2021。 2) 黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論，学習研究社，2009。
参考文献	1) 厚生省の指標 国民衛生の動向，厚生統計協会。(最新刊) その他、随時紹介します。
備考	*毎回、授業の開始と終了時に「作家ノート」を書きます。1回目の授業までに、ポケットサイズの横線入りノート(各回4ページ分程度使用)を準備しておいてください。

授業科目の区分	専門分野Ⅱ《成人看護学》
授業科目	健康危機状況からセルフケア再獲得に向けての看護Ⅰ
開講年次・学期	2年次・前期
単位(時間)	2(40)
担当講師	① 《専任教員》看護師としての実務経験あり ② 《所属：倉敷中央病院 特定行為実践看護師》 ③ 《所属：倉敷中央病院 呼吸器センター 看護師長》 ④ 《所属：倉敷中央病院 血液・腎臓内科病棟 看護師長》
科目のねらい	成人は自分の健康をセルフケアしている。この立場では看護職者がかわる危機状況は、成人期にある個人に生じる健康危機状況であるといえる。健康危機状況では、通常のセルフケア能力では対応しきれない5つのセルフケア不足(苦痛、身体機能悪化の恐れ、生活行動変更への対応困難、心理的・精神的混乱、家族および重要他者の不安や負担)があることを理解するとともに、健康危機状況にある看護について代表的な健康障害のある患者への看護を通して、病気や障害による影響を最小限にし、早期に回復するために必要となる看護と健康危機状況から回復へ向けた看護の考え方と方法を学ぶ。
授業計画	<p>1. 健康危機状況にある成人の理解 ①</p> <p>2. 健康危機状況にある成人に生じるセルフケア不足 (5つのセルフケア不足・苦痛、身体機能悪化の恐れ、生活行動変更への対応困難、心理的・精神的混乱、家族および重要他者の不安や負担)</p> <p>1. 循環障害のある患者の看護 ②</p> <p>1) 虚血性心疾患患者の看護、心不全患者の看護、不整脈患者の看護 (1) 主な症状・検査・治療・処置について ①症状 胸痛・動悸・不整脈・血圧の異常・チアノーゼ ②検査 心臓カテーテル法・心電図検査・血行動態モニタリング中(スワンガンツカテーテル挿入中)・心エコー検査・核医学検査 ③治療・処置 冠動脈バイパス術・弁置換術・薬物療法・食事療法・心臓カテーテル治療・補助循環装置・ペースメーカー・電気的除細動(AEDを含む)・心臓リハビリテーション 気管切開・人工呼吸器装着 (2) 看護理論の活用 危機理論 ストレス</p> <p>2. 呼吸器の障害のある患者の看護 ③</p> <p>1) 肺炎患者の看護、慢性閉塞性肺疾患患者の看護、肺がん患者の看護 (1) 主な症状・検査・治療・処置について ①症状 咳嗽・喀痰・血痰・咯血・胸痛・呼吸困難のある患者の看護 ②検査 気管支鏡検査・胸腔穿刺 ③治療・処置 吸入療法・酸素療法・胸腔ドレナージ・手術療法(開胸術)</p> <p>3. 消化器の障害のある患者の看護 ④</p> <p>1) 肝硬変の患者の看護、胃がんの患者の看護、腸疾患患者の看護 (1) 主な症状・検査・治療・処置について ①症状 腹痛、吐きけ、嘔吐、吐血、下血、便秘、腹部膨隆、食欲不振、黄疸、肝性脳症 ②治療 薬物療法、栄養・食事療法、手術療法、ストーマケア</p>
必携文献	<p>1) 吉田澄恵他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学②健康危機状況/セルフケアの再獲得 メディカ出版、2022。(①②③④)</p> <p>2) 道又元裕他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学，医学書院，2020。(②④)</p> <p>3) 吉田俊子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔3〕循環器，医学書院，2019。(②)</p> <p>4) 川村雅文他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔2〕呼吸器，医学書院，2019。(③)</p> <p>5) 松田明子：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔5〕消化器，医学書院，2019。(④)</p> <p>6) 岩田健太郎：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔11〕アレルギー 膠原病 感染症，医学書院，2020</p>

	<p>(3)</p> <p>7) 岩井郁子他：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔4〕臨床看護総論，医学書院，2016. (234)</p> <p>8) 矢永勝彦・小路美喜子：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論，医学書院，2017. (234)</p> <p>9) 北島政樹・江川幸二編：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論，医学書院，2017. (234)</p> <p>10) 黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論，学習研究社，2009. (1234)</p>
参考文献	<p>1) 坂井建雄：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学，医学書院，2018.</p> <p>2) 渡辺照男編：カラーで学べる病理学第4版，ヌーヴェルヒロカワ，2014.</p> <p>3) 田中越郎著：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔2〕病態生理学，医学書院，2016.</p> <p>4) 高橋長雄監修：新版からだの地図帳，講談社，2013.</p> <p>5) 山口和克監修：新版病気の地図帳，講談社，2000.</p> <p>6) 任和子・秋山智弥編集：根拠と医療事故防止からみた 基礎・臨床看護技術，医学書院，2019.</p> <p>7) 高木永子監修：看護過程に沿った対症看護 第4版 病態生理と看護のポイント，学研，2010.</p>
成績評価方法	②③④は終了試験。それぞれ6割以上を合格とする。
備考	①は事後課題レポートあり

授業科目の区分	専門分野Ⅱ《成人看護学》	
授業科目	健康危機状況からセルフケア再獲得に向けての看護Ⅱ	
開講年次・学期	2年次・前期	
単位（時間）	1（30）	
担当講師	① 《専任教員》看護師としての実務経験あり ② 《所属：倉敷中央病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師》 ③ 《所属：倉敷中央病院 整形外科病棟看護師》	
科目のねらい	自立した生活を送っていた成人がセルフケアをできなくなってしまうことは心身ともに極めて苦痛な体験である。生活様式や人生設計の変更など、それまでと違ったセルフケアを再獲得しなければならないこともある。成人のセルフケア低下は本人のみならず取り巻く周囲の人にも様々な影響を及ぼす。この科目では、健康状態が回復に向かいセルフケア再獲得に向けての患者とその家族を理解し、自立に向け病気や障害とより良く生きていくための看護について理解する。各領域別看護については、代表的な疾患を持つ患者の看護を通じて健康危機状況からセルフケア再獲得に向けての看護の考え方を学ぶ。	
授業計画	<p>1. セルフケアとは</p> <p>2. セルフケアが低下した状態とは</p> <p>3. セルフケア再獲得モデル</p> <p>1. 脳神経系に障害を持つ患者の看護</p> <p>1) 脳血管障害患者の看護、パーキンソン病患者の看護</p> <p>(1) 主な症状・検査・治療・処置について</p> <p>①症状 意識障害・言語障害・運動障害・嚥下障害・頭蓋内圧亢進のある患者の看護</p> <p>②検査 画像検査、看護師が行う診察（観察）</p> <p>③治療・処置 外科的加療・血管内治療、内科的治療</p> <p>(2) 看護理論の活用 障害受容 セルフケア再獲得モデル（セルフケアのアセスメント）、支援の実際</p> <p>2. 運動器に障害を持つ患者の看護</p> <p>1) 大腿骨頸部骨折患者の看護・脊髄損傷患者の看護</p> <p>(1) 主な症状・検査・治療・処置について</p> <p>①症状 神経麻痺、循環障害とフォルクマン拘縮</p> <p>②検査 脊髄造影検査</p> <p>③治療・処置 保存療法を受ける患者の看護（ギブス固定、副子固定、牽引療法）、手術療法</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>
必携文献	<p>1) 吉田澄恵他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学②健康危機状況／セルフケアの再獲得 メディカ出版, 2022. (①②③)</p> <p>2) 竹村信彦他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔7〕脳・神経, 医学書院, 2019. (②)</p> <p>3) 加藤光宝他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔10〕運動器, 医学書院, 2019. (③)</p> <p>4) 岩井郁子他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔4〕臨床看護総論, 医学書院, 2016. (②③)</p> <p>5) 矢永勝彦・小路美喜子：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論, 医学書院, 2017. (②③)</p> <p>6) 北島政樹・江川幸二編：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論, 医学書院, 2017. (②)</p> <p>7) 黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論, 学習研究社, 2009. (①②③)</p>	
参考文献	<p>1) 坂井建雄：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学, 医学書院, 2018.</p> <p>2) 渡辺照男編：カラーで学べる病理学第4版, ヌーヴェルヒロカワ, 2014.</p> <p>3) 田中越郎著：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔2〕病態生理学, 医学書院, 2016.</p> <p>4) 高橋長雄監修：新版からだの地図帳, 講談社, 2013.</p> <p>5) 山口和克監修：新版病気の地図帳, 講談社, 2000.</p> <p>6) 任和子・秋山智弥編集：根拠と医療事故防止からみた 基礎・臨床看護技術, 医学書院, 2019.</p> <p>7) 武田宜子他：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護, 医学書院, 2015.</p>	

成績評価方法	②③終了試験、それぞれ6割以上を合格とする。
備考	①は事後課題レポートあり

授業科目の区分	専門分野Ⅱ《成人看護学》	
授業科目	セルフマネジメントに向けての看護	
開講年次・学期	2年次・前期	
単位(時間)	1(30)	
担当講師	①《専任教員》看護師としての実務経験あり ②《所属：倉敷中央病院 地域連携統括看護師長兼総合相談・地域医療・入退院支援センター入退院支援室長兼予防医療プラザ看護部看護師長》 ③《所属：倉敷中央病院 糖尿病認定看護師 リソースナース室看護師長》 ④《所属：倉敷中央病院 透析看護認定看護師》 ⑤《所属：倉敷中央病院 病棟 看護師長》	
科目のねらい	成人期にある人の多くは専門家の助けなしにセルフケアにより健康の維持と増進に努めている。しかしながら成人が何らかの慢性的な疾患に罹患した場合、医学的な管理を日常生活にくみこみ、長期間にわたり継続していく必要が生じる。看護者には、その人自身が自立した存在として、病ある生活を生きるための専門的な知識と技術、パートナーシップを形成する力が求められる。本科目では代表的な慢性疾患を持つ患者の看護を通じて、対象が病気と家庭生活、社会生活の折り合いをつけて自分らしく生きていけるよう、セルフマネジメントを支援する看護を学ぶ。	
授業計画	1. セルフマネジメントとは 2. 学習支援	①
	1. 外来におけるセルフマネジメント支援について 1) 外来看護師の役割 2) 入退院支援の実際	②
	1. 代謝障害のある患者の看護 1) 糖尿病患者の看護 (1) 主な症状・検査・治療・処置について ①症状 糖尿病に伴う身体症状：高血糖・低血糖に関連するもの、合併症に起因するもの ②治療 食事療法、運動療法、薬物療法、セルフモニタリング (2) 看護理論の活用 エンパワーメント・自己効力理論	③
	2. 腎障害のある患者の看護 1) 慢性腎臓病患者の看護 (1) 主な症状・検査・治療について 薬物療法、食事療法、透析療法 (2) 慢性腎臓病を有した患者の災害看護 2) 看護理論の活用 病みの軌跡・セルフマネジメント	④
	3. 内分泌障害のある患者の看護 1) 下垂体疾患患者の看護・甲状腺疾患患者看護 (1) 主な症状・検査・治療・処置について 内分泌疾患の検査を受ける患者の看護、ホルモン充填療法、薬物療法、手術療法 4. 膠原病の患者の看護 1) 関節リウマチ患者の看護、全身性エリテマトーデスの患者の看護 (1) 主な症状・検査・治療・処置について 薬物療法(非ステロイド性抗炎症薬、副腎皮質ステロイド、免疫抑制剤)	⑤
必携文献	1) 安酸史子他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント，メディカ出版，2015. (①②③④⑤) 2) 吉岡成人他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔6〕内分泌・代謝，医学書院，2019. (③⑤) 3) 村井勝他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔8〕腎・泌尿器，医学書院，2019. (④) 4) 岩田健太郎：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔11〕アレルギー 膠原病 感染症，医学書院，2020. (⑤) 5) 岩井郁子他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔4〕臨床看護総論，医学書院，2016. (③④⑤) 6) 黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論，学習研究社，2009. (①③④⑤)	

参考文献	1) 坂井建雄：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学, 医学書院, 2018. 2) 渡辺照男編：カラーで学べる病理学第4版, ヌーヴェルヒロカワ, 2014. 3) 田中越郎著：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [2] 病態生理学, 医学書院, 2016. 4) 高橋長雄監修：新版からだの地図帳, 講談社, 2013. 5) 山口和克監修：新版病気の地図帳, 講談社, 2000. 6) 任和子・秋山智弥編集：根拠と医療事故防止からみた 基礎・臨床看護技術, 医学書院, 2019. 7) 高木永子監修：看護過程に沿った対症看護 第4版 病態生理と看護のポイント, 学研, 2010. 8) 岩井郁子他：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [4] 臨床看護総論, 医学書院, 2016.
成績評価方法	③④⑤終了試験 それぞれ6割以上を合格とする。
備考	①②は事後課題レポートあり

授業科目の区分	専門分野Ⅱ《成人看護学》	
授業科目	成人看護実践演習（成人の看護展開）	
開講年次・学期	2年次・前期	
単位（時間）	1（30）	
担当講師	① 《実習指導教員》看護師としての実務経験あり ②③《専任教員》看護師としての実務経験あり ④ 《専任教員》看護師としての実務経験あり	
科目のねらい	<p>成人の看護過程では、成人を“自分の健康をセルフケアしようとしている”という大前提に立ち、急激な健康破綻と回復過程にある人々を援助するために必要な看護を①健康危機状況にある人の看護②セルフケアの再獲得として学ぶ。また、成人が何らかの慢性的な病をもったときに、生活者としてどのように病気と家庭生活、社会生活の折り合いをつけて、自分らしく生きていくための③セルフマネジメントを支援する看護を、生命を脅かす疾患によって様々な問題に直面している患者と家族を支援する④緩和ケアについて学ぶ。</p> <p>授業では、一人の成人期にある事例患者およびその家族がさまざまな状況のなかかに存在するとき、看護者としてどのように看護しうるのかについて、それぞれの看護の特徴にあわせて実践的に思考し、看護の展開方法を学ぶ。領域別実習における看護の土台となる本科目において、部位別看護、臓器別看護、系統別看護、疾患別・治療別看護といった医学的視点や既習の知識、基礎看護技術を統合させ、成人のセルフケアに注目して看護するために必要な学習を見出し、主体的に学習する姿勢を身につけていくことをねらいとする。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 急性期を健康危機状況と捉えその特徴および5つのセルフケア不足への看護を考える。</li> <li>2) 健康危機状況の症状・起こりうる状態の機序を明らかにし、アセスメントの思考を学ぶ。</li> <li>3) 慢性・長期的な健康問題をもつ人の身体的・心理的・社会的状態を理解する。</li> <li>4) セルフマネジメントを支援するための援助方法を述べる。</li> <li>5) セルフケア低下の原因と再獲得を阻む要因を理解する。</li> <li>6) セルフケア再獲得を支援するための看護の在り方を述べる。</li> <li>7) 全人的苦痛について理解した上で、対象にかかわる看護者の在り方について考えを述べる。</li> <li>8) 身体症状による苦痛を緩和し、その人らしい日常生活を支えるための看護について考えを述べる</li> </ol>	
授業計画	<p>健康危機状況にある患者の看護：直腸癌の周術期にある対象者の事例をもとに看護展開を行う 「健康危機状況を回避・脱却できるようにセルフケアを支援するとは？」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1回目 健康危機状況を予測する</li> <li>2回目 健康危機状況を捉える</li> <li>3回目 術後の健康危機状況を回避・脱却するための援助計画</li> <li>4回目 生活行動変更へ対応できるようセルフケアを支援するための援助を考える</li> </ol>	①
	<p>セルフケア再獲得に向けての看護</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1回目 セルフケア低下のアセスメントと評価</li> <li>2回目 実践演習：「できるADL」から「しているADL」にするための援助</li> <li>3回目 カンファレンス：セルフケア再獲得を支援するための看護者の在り方</li> </ol>	②
	<p>セルフマネジメントに向けての看護</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1回目 パートナーシップと3つのマネジメント</li> <li>2回目 病とともに生きる人の心理・社会的な健康問題</li> <li>3回目 実践演習：生活をきく</li> <li>4回目 セルフマネジメントを支援するための援助方法</li> </ol>	③
	<p>緩和ケア：肝細胞がんのターミナル期にある対象者の事例をもとに看護展開を行う 「患者・家族の苦しみを予防し、QOLを改善するとは？」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1回目 緩和ケアを必要とする患者の全体像を描くための考察視点について考える</li> <li>2回目 患者と出会い、全人的苦痛を捉える</li> <li>3回目 患者（家族）の全体像を描き「その人らしさ」を分析する</li> <li>4回目 全人的苦痛を緩和しその人らしさを支援するための援助を考える</li> </ol>	④
必携文献	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 吉田澄恵他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学②健康危機状況／セルフケアの再獲得 メディカ出版、2022. (①②)</li> <li>2) 安酸史子他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント, メディカ出版, 2015. (③)</li> <li>3) 中島恵美子他：ナーシング・グラフィカ成人看護学⑤周手術期看護, メディカ出版, 2017. (①)</li> <li>4) 恒藤 暁他編：系統看護学講座 別巻 緩和ケア, 医学書院, 2020. (④)</li> </ol>	



	5) 道又元裕他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学, 医学書院, 2020. (①) 6) 黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論, 学習研究社, 2009. (①②③)
参考文献	1) 安酸史子・鈴木純恵・吉田澄恵編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論, メディカ出版, 2015.
成績評価方法	課題、出席と学習への取り組みを総合的に判断し、①～④を25点満点とし、それぞれ6割以上を合格とする